

# 日本の古典としての漢詩の特徴： 日中の教科書に採録されている漢詩の分析より

馬 艶艶・石田 友梨（岡山大学 社会文化科学研究科）

中国最古の詩集『詩経』が誕生して以降、詩作が続けられ、一番盛んになったのは唐代（618-907年）である。それは中国の文学史において常に重要な役割を果たしてきたばかりでなく、周辺諸国にも伝えられ、さらには、世界の国々の文化に影響をもたらした。日本では「漢詩」と呼ばれ、多くの日本人に親しまれてきた。我々現代人が漢詩に触れる機会として、国語の教科書は無視できない存在である。しかし、日本と中国の教科書に採録されている漢詩は、数や内容などに大きな相違点がみられる。そこで本研究では、KH Coder で日中の教科書に採録されている漢詩を分析し、日本の古典として受け継がれている漢詩の特徴を究明することを目指した。

## Characteristics of Japanese classical Chinese poetry: Analysis on Chinese poem examples taken within Japanese and Chinese textbooks

Yanyan Ma / Yuri Ishida (Graduate School of Humanities and Social Sciences, Okayama University)

Since the birth of China's oldest collection of poems, *The Book of Song*, Tang Dynasty saw the peak of Chinese poetry. Poetry of Chinese culture, which not only spread to Japan, but also influenced other cultures in the world, is known as *Chinese Poetry* and became popular in Japan mainly by means of textbooks and other channels. However, there are various differences in numbers and contents between Chinese and Japanese textbooks when choosing which poem as example. This article aims to study the Chinese poem examples in Chinese and Japanese textbooks through KH Coder, and then find out the characteristics of Japanese classical Chinese poetry.

### 1. はじめに

本研究は、日本の教科書に採録されている漢詩の特徴を分析する。751年の漢詩集『懷風藻』以降、明治期までの日本においては、漢詩の創作が教養人の嗜みとされていた。戦後も国語科における漢文教育は継続され、脱ゆとり教育を掲げた2008-2009年の学習指導要領改訂では、小学校から必修となった。しかし、小中の教科書で採録されている漢文の数は少なく、必修化される以前とは比較もできない。そこで本研究では、高校国語科の必修教科書を対象とする。

2010年6月に文部科学省が示した「高等学校学習指導要領解説 国語編」[1]には、「古典としての漢文とは、我が国の古典として享受されてきた漢文を指」（p.63）すとある。日本における漢文教育では、漢詩や故事成語、論語などが取り上げられている。このうち、採録に偏りがあるとされる漢詩に注目する。日本の教科書に採録されている漢詩と中国の教科書に採録されている詩（以下「漢詩」で統一）の比較分析を手掛かりに、日本の古典としての漢詩とは何か、その特徴を明らかにしていきたい。

### 2. 先行研究

日本の国語教科書と、中国の国語に相当する語文教科書に共通する漢詩を分析した林教子[2]は、「日本の教科書では、唐代、それも盛唐の作品を多く採録しているのに対して、中国の教科書では、『詩経』から明・清代の作品までバランスよく採っている」（p.86）と指摘している。また、高校「国語総合」の教科書に採録されている漢詩を調査した堀誠[3]は、「唐代詩人は二千九百余人、詩篇は約五万首ともいう中で李杜を中心に十七人の詩人の三十六首の詩篇のみで構成されることは、学校教育の環境下とはいえ多少狭小な数字であるようにも思われる」（p.92）と懸念を示している。

林が調査対象とした中国の語文教科書は、人民教育出版社の2001-2014年印刷『義務教育課程標準実験教科書』1年級上～9年級下、2001-2014年印刷『普通高中課程標準実験教科書必修』（一）～（五）、2011年印刷『普通高中課程標準実験教科書 中国古代詩歌散文欣賞 選修』である。同版については、足立悦男・郭丹[4]、丁秋郷[5]、西川真子[6]などの研究があるが、本研究では、2016年以降に出版された新版（以下「2016年版」）の人民教育出版社の教科書に採録されている漢詩を

新たに調査する。2001–2014年版と2016年版に相当する期間に出版された日本の教科書に採録されている漢詩と比較することで、日本の古典としての漢詩が示す通時的な特徴を明らかにしていきたい。

### 3. 日本の教科書に採録されている漢詩

本研究が対象とする日本の高校国語科における必修教科書は、学習指導要領の改訂に伴い変遷してきた。1958–1960年の改訂では「現代国語」、1968–1970年の改訂では「現代国語」と「古典I甲」、1977–1978年と1989年の改訂では「国語I」が必修とされた。1998–1999年の改訂では必修はなく、「国語表現I」と「国語総合」が選択必修となったが、漢詩が採録されているのは「国語総合」である。2008–2009年の改訂で再び「国語総合」が必修となった。2017–2018年の改訂では、「現代の国語」と「言語文化」を必修とすることが提案されている[7]。

2001年以降に印刷された中国の教科書と比較するため、報告者たちが所属する岡山大学の図書館に所蔵されている国語科必修教科書のうち、1995年、2007年、2017年発行の教育出版、三省堂、第一学習社、大修館書店、筑摩書房、東京書籍、明治書院の7社の教科書を調査対象とした。以下に各出版社の教科書それぞれに採録されている漢詩の数を「漢詩数」とし、発行年毎にまとめる(表1、表2、表3)。作者と詩題が明示されている場合に限り、「漢詩数」として数えた。たとえば、崔護「題都城南莊」は、崔護を主人公とする孟榮「人面桃花」の物語の一部として教科書に掲載されている[8]が、詩題には言及されていないので「漢詩数」として数えない。漢詩を説明するためのコラムや評論において、作者と詩題とともに引用されている場合は「漢詩数」に数えた。

表1：1995年7社13冊の教科書と漢詩数

出版社	書名	漢詩数
教育出版	国語I	8
三省堂	国語I	10
	明解国語I	8
第一学習社	高等学校国語一	10
	高等学校新編国語一	6
大修館書店	高等学校国語I	8
	高等学校新国語I	8
筑摩書房	国語I	7
	新編国語I	8
東京書籍	国語I	10
	新編国語I	8
明治書院	高校生の国語I	7
	精選新国語I古典編	9
合計		107

表2：2007年7社18冊の教科書と漢詩数

出版社	書名	漢詩数
教育出版	国語総合改訂版	9
	新国語総合改訂版	7
三省堂	高等学校国語総合改訂版	9
	新編国語総合改訂版	6
	明解国語総合	3
第一学習社	高等学校改訂版国語総合	9
	高等学校改訂版新編国語総合	6
	高等学校改訂版標準国語総合	5
	高等学校新訂国語総合古典編	9
大修館書店	国語総合改訂版	8
	新編国語総合改訂版	8
筑摩書房	国語総合改訂版	7
	精選国語総合改訂版古典編	9
東京書籍	国語総合古典編	9
	新編国語総合	8
	精選国語総合	8
明治書院	高校生の国語総合	6
	新精選国語総合	9
合計		135

表3：2017年7社20冊の教科書と漢詩数

出版社	書名	漢詩数
教育出版	国語総合	8
	新編国語総合	8
	精選国語総合古典編	11
三省堂	高等学校国語総合古典編	11
	精選国語総合改訂版	9
	明解国語総合改訂版	6
第一学習社	高等学校改訂版国語総合	9
	高等学校改訂版新訂国語総合古典編	9
	高等学校改訂版新編国語総合	5
	高等学校改訂版標準国語総合	5
大修館書店	国語総合改訂版古典編	11
	新編国語総合改訂版	8
	精選国語総合新訂版	8
筑摩書房	国語総合改訂版	12
	精選国語総合古典編改訂版	12
東京書籍	国語総合古典編	10
	新編国語総合	8
	精選国語総合	10

明治書院	新高等学校国語総合	9
	新精選国語総合古典編	9
	合計	178

各年の変遷を概観してみよう。各出版社から発行される教科書の冊数が増えていくにつれ、当然漢詩数の合計も増えている。一方、教科書一冊当たりの漢詩数は、2017年に増加した。これは、2008-2009年の学習指導要領改訂による脱ゆとり教育の反映と思われる。漢詩数は2007年三省堂『明解国語総合』の3が最小、2017年筑摩書房の12が最大である。

続いて、各年に採録されている漢詩の内訳を示す。たとえば、杜甫「絶句」は1995年度発行の大修館書店『高等学校国語I』、筑摩書房『新編国語I』、東京書籍『国語I』に採録されているため、「採録数」を3とする。以下、五十音順に各教科書に採録されている漢詩を並べる。詩題が長い際には適宜省略した（表4、表5、表6）。

表4：1995年教科書の各漢詩の採録数

	作者	詩題	採録数
1	于武陵	勸酒	1
2	王維	送元二使安西	11
3	王維	竹里館	2
4	王翰	涼州詞	9
5	王之渙	登鸛鵲樓	9
6	高適	除夜作	1
7	崔顥	黃鶴樓	1
8	岑參	胡笳歌送顏真卿…	1
9	張繼	楓橋夜泊	3
10	杜甫	登岳陽樓	3
11	杜甫	春望	9
12	杜甫	絶句（江碧…）	3
13	杜甫	登高	1
14	杜甫	旅夜書懷	1
15	杜牧	江南春	5
16	杜牧	山行	3
17	杜牧	泊秦淮	1
18	杜牧	贈別	2
19	白居易	香炉峰下…	7
20	孟浩然	春曉	6
21	李白	怨情	2
22	李白	黃鶴樓送孟浩然…	5
23	李白	靜夜思	6
24	李白	早發白帝城	2
25	李白	送友人	3
26	劉禹錫	秋風引	2
27	柳宗元	江雪	8
		合計	107

表5：2007年教科書の各漢詩の採録数

	作者	詩題	採録数

1	韋忠物	秋夜寄丘二十二員外	1
2	于武陵	勸酒	2
3	王維	送元二使安西	14
4	王維	雜詩（君自故郷来）	1
5	王維	竹里館	3
6	王翰	涼州詞	7
7	王之渙	登鸛鵲樓	7
8	耿漳	秋日	1
9	高適	除夜作	2
10	高駢	山亭夏日	1
11	張繼	楓橋夜泊	1
12	杜甫	登岳陽樓	2
13	杜甫	月夜	1
14	杜甫	春日憶李白	1
15	杜甫	春望	11
16	杜甫	春夜喜雨	1
17	杜甫	絶句（江碧…）	5
18	杜甫	登高	2
19	杜甫	不見	1
20	杜甫	旅夜書懷	1
21	杜牧	江南春	6
22	杜牧	山行	4
23	杜牧	清明	1
24	杜牧	贈別	1
25	白居易	香炉峰下…	8
26	白居易	八月十五日夜…	2
27	孟浩然	留別王維	1
28	孟浩然	春曉	10
29	李商隱	登樂遊原	1
30	李白	贈汪倫	2
31	李白	黃鶴樓送孟浩然…	8
32	李白	山中間答	1
33	李白	春夜洛城聞笛	1
34	李白	靜夜思	7
35	李白	早發白帝城	3
36	李白	送友人	2
37	劉禹錫	秋風引	1
38	柳宗元	江雪	11
		合計	135

表6：2017年教科書の各漢詩の採録数

	作者	詩題	採録数
1	韋忠物	秋夜寄丘二十二員外	4
2	于武陵	勸酒	2
3	王維	送元二使安西	18
4	王翰	涼州詞	13
5	王之渙	登鸛鵲樓	7
6	耿漳	秋日	2
7	高駢	山亭夏日	5
8	杜甫	登岳陽樓	1
9	杜甫	月夜	3
10	杜甫	春望	18
11	杜甫	春夜喜雨	1

12	杜甫	絶句（江碧…）	4
13	杜甫	登高	1
14	杜甫	旅夜書懷	1
15	杜牧	江南春	8
16	杜牧	山行	4
17	杜牧	贈別	2
18	白居易	香炉峰下…	12
19	白居易	八月十五日夜…	6
20	孟浩然	春曉	16
21	孟浩然	臨洞庭	1
22	李白	贈汪倫	1
23	李白	峨眉山月歌	1
24	李白	黃鶴樓送孟浩然…	5
25	李白	春夜洛城聞笛	2
26	李白	靜夜思	16
27	李白	早發白帝城	2
28	李白	送友人	2
29	李白	望廬山瀑布	2
30	柳宗元	江雪	17
31	劉廷芝	代悲白頭翁	1
		合計	178

各年の変遷を概観すると、採録されている作品の数は増減を繰り返している。しかし、杜甫と李白の作品から多くが採録され、2017年には全作品数の4分の1が李白、杜甫と李白で半分を占めるほどである。

一方、各年採録数が最も多いのは王維「送元二使安西」である。各年いずれかの教科書において採録されている漢詩19作品を表7に示す。各漢詩の採録数を各年の教科書総冊数で割り、各年の平均を「採録率」とした。

表7：各年採録されている漢詩と採録率

	作者	詩題	採録率
1	于武陵	勸酒	9.6
2	王維	送元二使安西	84.1
3	王翰	涼州詞	57.7
4	王之渙	登鸛鵲樓	47.7
5	杜甫	登岳陽樓	13.1
6	杜甫	春望	73.4
7	杜甫	絶句（江碧…）	23.1
8	杜甫	登高	7.9
9	杜甫	旅夜書懷	6.1
10	杜牧	江南春	37.3
11	杜牧	山行	21.8
12	杜牧	贈別	10.3
13	白居易	香炉峰下…	52.8
14	孟浩然	春曉	60.6
15	李白	黃鶴樓送孟浩然…	36.0
16	李白	靜夜思	55.0
17	李白	早發白帝城	14.0
18	李白	送友人	14.7
19	柳宗元	江雪	69.2

#### 4. 中国の教科書に採録されている漢詩

中国の語文教科書は、建国から1985年まで中国人民教育出版社の「人教版」が使用されてきた。1985年から2016年までは、日本と同じく、ひとつの指導要領に従って複数の出版社が編集した教科書のなかから、使用する教科書を選択するという方針（一網多本）であった。しかし、試用期間を経た2019年9月以降、中国教育部主導の人民教育出版社『統（部）編版語文』（人教版）が全国で使用されることになった[9]。日本の小学校1年から高校3年に相当する必修科目の語文教科書について、全国で使用されることになった2016年人教版[10]に採録されている漢詩を掲載順に表8に示す。日本の教科書の場合と同様に、作者と詩題が明示されているかを基準に数え、清朝より後に作られた現代詩や外国詩の翻訳は除外した。

表8：2016年人教版採録の漢詩

	学年	作者	詩題
1	一年上	骆宾王	咏鹅
2		汉乐府	江南
3		李绅	悯农（其二）
4		李白	古朗月行
5		李峤	风
6	一年下	孟浩然	春晓
7		李白	贈汪倫
8		李白	靜夜思
9		贾島	尋隱者不遇
10		白居易	池上
11		杨万里	小池
12		唐寅	画鸡
1	二年上	王安石	梅花
2		胡令能	小儿垂钓
3		王之渙	登鸛雀樓
4		李白	望廬山瀑布
5		柳宗元	江雪
6		李白	夜宿山寺
7		（北朝民歌）	敕勒歌
8	二年下	高鼎	村居
9		贺知章	咏柳
10		白居易	賦得古原草送別
11		杨万里	曉出淨慈寺送…
12		杜甫	絶句（两个…）
13		李绅	悯农（其一）
14		查慎行	舟夜书所见
1	三年上	袁枚	所见
2		杜牧	山行
3		苏轼	贈劉景文
4		叶紹翁	夜书所见
5		李白	望天門山
6		苏轼	飲湖上初晴後雨

7		刘禹锡	望洞庭
8		李白	早发白帝城
9		王昌龄	采莲曲
10	三年下	杜甫	绝句（迟日…）
11		苏轼	惠崇春江晚景
12		曾几	三衢道中
13		白居易	忆江南
14		王安石	元日
15		杜牧	清明
16		王维	九月九日忆山…
17		韦应物	滁州西涧
18		白居易	大林寺桃花
1	四年上	王维	鹿柴
2		白居易	暮江吟
3		苏轼	题西林壁
4		卢钺	雪梅
5		李商隐	嫦娥
6		王昌龄	出塞
7		王翰	凉州词
8		李清照	夏日绝句
9		高适	别董大
10	四年下	杨万里	宿新市徐公店
11		范成大	四时田…（其25）
12		辛弃疾	清平乐·村居
13		罗隐	蜂
14		李白	独坐敬亭山
15		王昌龄	芙蓉楼送辛渐
16		卢纶	塞下曲
17		王冕	墨梅
1	五年上	李白	黄鹤楼送孟浩然…
2		林杰	乞巧
3		陆游	示儿
4		林升	题临安邸
5		龚自珍	己亥杂诗
6		王维	山居秋暝
7		张继	枫桥夜泊
8		纳兰性德	长相思
9		张志和	渔歌子
10		朱熹	观书有感（其一）
11		朱熹	观书有感（其二）
12	五年下	范成大	四时田…（其31）
13		杨万里	稚子弄冰
14		雷震	村晚
15		孟郊	游子吟
16		王维	鸟鸣涧
17		王昌龄	从军行
18		王维	送元二使安西
19		陆游	秋夜将晓出篱门…
20		王之涣	凉州词
21		李白	黄鹤楼送孟浩然…
22		翁卷	乡村四月
1	六年上	孟浩然	宿建德江
2		苏轼	六月二十七日望…

3		辛弃疾	西江月·夜行黄沙…
4		孟浩然	过故人庄
5		朱熹	春日
6		贺知章	回乡偶书
7		刘禹锡	浪淘沙（其一）
8		杜牧	江南春
9		王安石	书湖阴先生壁
10	六年下	韩翃	寒食
11		（?）	迢迢牵牛星
12		王建	十五夜望月
13		（汉乐府）	长歌行
14		李贺	马诗
15		于谦	石灰吟
16		郑燮	竹石
17		（?）	采薇（节选）
18		王维	送元二使安西
19		杜甫	春夜喜雨
20		韩愈	早春呈水部…
21		范仲淹	江上渔者
22		王安石	泊船瓜洲
23		叶绍翁	游园不值
24		王观	卜算子·送鲍浩然…
25		苏轼	浣溪沙·游蕲水…
26		黄庭坚	清平乐
1	七年上	曹操	观沧海
2		李白	闻王昌龄左迁龙…
3		王湾	次北固山下
4		马致远	天净沙·秋思
5		李白	峨眉山月歌
6		杜甫	江南逢李龟年
7		岑参	行军九日思长安…
8		李益	夜上受降城闻笛
9		刘禹锡	秋词（其一）
10		李商隐	夜雨寄北
11		陆游	十一月…（其二）
12		谭嗣同	潼关
13	七年下	王维	竹里馆
14		李白	春夜洛城闻笛
15		岑参	逢入京使
16		韩愈	晚春
17		陈子昂	登幽州台歌
18		杜甫	望岳
19		王安石	登飞来峰
20		陆游	游山西村
21		龚自珍	己亥杂诗（其五）
22		杜牧	泊秦淮
23		李商隐	贾生
24		杨万里	过松源晨…（其五）
25		赵师秀	约客
1	八年上	王绩	野望
2		崔颢	黄鹤楼
3		王维	使至塞上

4		李白	渡荆门送别
5		白居易	钱塘湖春行
6		(?)	庭中有奇树
7		曹操	龟虽寿
8		刘桢	赠从弟(其二)
9		曹植	梁甫行
10		陶渊明	饮酒(其五)
11		杜甫	春望
12		李贺	雁门太守行
13		杜牧	赤壁
14		李清照	渔家傲
15		晏殊	浣溪沙
16		欧阳修	采桑子
17		朱敦儒	相见欢
18		李清照	如梦令
19	八年下	(诗经)	关雎
20		(诗经)	蒹葭
21		(诗经)	式微
22		(诗经)	子衿
23		王勃	送杜少府之任蜀州
24		孟浩然	望洞庭湖赠张丞相
25		杜甫	茅屋为秋风所破歌
26		白居易	卖炭翁
27		常建	题破山寺后禅院
28		李白	送友人
29		苏轼	卜算子·黄州定慧…
30		陆游	卜算子·咏梅
1	九年上	李白	行路难(其一)
2		刘禹锡	酬乐天扬州初逢…
3		苏轼	水调歌头
4		杜甫	月夜忆舍弟
5		刘长卿	长沙过贾谊宅
6		韩愈	左迁至蓝关示…
7		温庭筠	商山早行
8		许浑	咸阳城东楼
9		李商隐	无题
10		秦观	行香子
11		辛弃疾	丑奴儿·书博山…
12	九年下	范仲淹	渔家傲·秋思
13		苏轼	江城子·密州出猎
14		辛弃疾	破阵子·为陈同…
15		秋瑾	满江红
16		苏轼	定风波
17		陈与义	临江仙·夜登小…
18		辛弃疾	太常引·建康中秋…
19		纳兰性德	浣溪沙
20		(?)	十五从军征
21		岑参	白雪歌送武…
22		辛弃疾	南乡子·登京口北…
23		文天祥	过零丁洋
24		张养浩	山坡羊·潼关怀古
25		文天祥	南安军
26		夏完淳	别云间

27		张养浩	山坡羊·骊山怀古
28		王磐	朝天子·咏喇叭
	必修1		該当なし
1	必修2	杜甫	绝句漫兴…(其一)
2		刘禹锡	杨柳枝词(其一)
3		(诗经)	氓
4		(诗经)	采薇
5		屈原	离骚(长太息…)
6		(?)	孔雀东南飞(开序)
7		(?)	涉江采芙蓉
8		曹操	短歌行
9		陶渊明	归园田居(其一)
1	必修3	李白	蜀道难
2		杜甫	秋兴八首(其一)
3		杜甫	咏怀古迹(其三)
4		杜甫	登高
5		白居易	琵琶行(开序)
6		李商隐	锦瑟
7		李商隐	马嵬(其二)
1	必修4	柳永	望海潮
2		柳永	雨霖铃
3		苏轼	念奴娇·赤壁怀古
4		苏轼	定风波
5		辛弃疾	水龙吟·登建康赏…
6		辛弃疾	永遇乐·京口…
7		李清照	醉花阴
8		李清照	声声慢
1	必修5	陶渊明	归去来兮辞(开序)
2		王勃	滕王阁诗
3		曹操	观沧海

表8に基づき、2016年人教版の特徴を以下に述べる。語文教科書に初めて登場する漢詩は、一年上の「詠鷺」である。「詠鷺」はガチョウの様子を描いた漢詩であり、子供たちにも親しみやすく、理解しやすい内容となっている。難しそうにみえる漢詩も動物を描くことがあると分かり、漢詩への印象も変わり、漢詩を勉強する意欲が高まることだろう。低学年の生徒でも漢詩に親しむことができるようにとの編者の工夫がみられる。ほかに低学年向けの漢詩としては、「憫農」という作品が目される。暑い太陽の下で汗が止まらないほどの苦勞をしている農民の大変さ、作物の作りにくさなどを描くことで、食べ物を大事にするという道徳を子供たちに伝えている。

また、学年順に漢詩が難しくなるよう配置も工夫されている。たとえば、低学年向けの漢詩は月、風、春などの自然風景を詠じるものが多い。その後、送別、人情、愛国心、戦争などを描く漢詩が増えていく。

それから、中国の小中高の教科書には、幅広い時代から多くの詩人の作品が選ばれているが、女性は李清照という宋代の詩人の作品しか出てこない。唐代では魚玄機や薛濤などの女性詩人が活

躍していたにもかかわらず、彼女たちの漢詩が選ばれていない。中国の語文教科書に採録されている漢詩には、男女の偏りがあるといえるかもしれない。

最後に、「元日」（1月1日）、「清明」（4月5日頃）、「九月九日憶山東兄弟」（9月9日の重陽）、「乞巧」（7月7日の七夕）など、中国の伝統行事を描く漢詩が採録されていることを指摘したい。近年中国では年中行事に対する政治的関心が高まっていることから、編者が中国の伝統文化を普及させることを意図し、これらの漢詩を選んだものと思われる。

## 5. 漢詩の特徴の分析と結果

以上の調査結果に基づき、1995年、2007年、2017年の日本の教科書に採録されたことのある漢詩46首(①)、2001–2014年と2016年人教版に採録されたことのある漢詩252首(②)、①と②に共通する漢詩25首(③)について[11], KH Coder [12]を用いたテキストマイニングを行う。過去20年ほどの日中の教科書に採録されてきた漢詩を比較することにより、日本の古典として受容されている漢詩の特徴を明らかにしたい。

なお、KH Coderの特性上、日本の教科書に採録されている漢詩はすべて中国語簡体字として句読点を加え[13], 分析言語を中国語とした。KH Coderで分析した①のエクセルファイルの一部を表9に示す。

表9：日本の教科書に採録されたことのある漢詩のデータの一部

作者	詩題	本文
王維	送元二使安西	渭城朝雨浥轻尘， 客舍青青柳色新。 劝君更尽一杯酒， 西出阳关无故人。
王翰	凉州词	葡萄美酒夜光杯， 欲饮琵琶马上催。 醉卧沙场君莫笑， 古来征战几人回。
王之涣	登鹳雀楼	白日依山尽，黄河 入海流。欲穷千里 目，更上一层楼。

KH Coderによる分析結果として、①、②、③の頻出語のうち、「不」などの副詞を除いた上位10語を表10に示す。( )内は出現回数である。

表10：日中漢詩の頻出上位10語の比較

	①	②	③
1	人, 君, 月,	人 (37)	人, 山 (5)
2	落 (6)	君 (31)	

3		来 (28)	知, 鳥 (4)
4		去, 見 (27)	
5	寒, 山, 故郷, 看, 花, 聞 (5)	帰, 知 (24)	恨, 時節, 明月, 水, 看, 花, 落, 雨, 風 (3)
6			
7			
8		山, 聞 (23)	
9			
10		月 (21)	

①では「月」, 「山」, 「故郷」, 「花」などの情景を喚起する語が並ぶのに対して、②では「来」(来る), 「去」(行く), 「見」(会う)などの動詞が続く。日本では自然を詠んだ漢詩、中国では動的な漢詩が好まれる傾向を示している可能性がある。③は日中に共通する漢詩であるが、日本の詩が題材とする「花鳥風月」すべてが上位頻出語に含まれるという結果となった。和歌に似た情景を詠う漢詩が日本で好まれてきたことは想像に難くない。①, ②, ③に共通するのは、「人」, 「山」, 「(明)月」である。

## 6. 考察

漢詩は、風景を描写した自然詩、友人との別れを描く送別詩、戦争についての辺塞詩、女性が一人寝を嘆く閨怨詩に分類される。日本の教科書に採録されている漢詩の上位頻出語は、「月」, 「山」, 「花」など自然に関する言葉であった。「月」と「山」は、中国の教科書にも多く採録されている。とりわけ月については、人間の感情が湧きやすい夜に詩人が空を見上げ、月を描くことで故郷への思いを詠うというパターンがある。月に託した故郷への思いは、日本の古典としての漢詩の特徴のひとつであるといえよう。

次に、「人」と「君」という人物を指す言葉が多いことが注目されるだろう。日中双方で一番出現回数が多いのは「人」であり、「自分を指す」場合と、「一般の人を指す」場合がほとんどである。「君」は送別詩によくみられるが、日中双方のデータの第二位であり、送別詩も両国で好まれていることが分かる。一方、日中共通の漢詩において「君」の出現回数が相対的に低下するのは、採録されている作品に違いがあるためと思われる。たとえば、井伏鱒二の「サヨナラだけが人生だ」という和訳で知られる于武陵の「勸酒」は、中国の教科書では採録されていない。

自然の美しさへの感動や、別れを惜しむ感情は、人類共通のものである。本研究では、自然詩や送別詩が日本の古典として受け継がれていることを、テキストマイニングにより裏づけることができた。しかし、送別詩という枠内でも異なる作品が採録されていたり、同じ詩人でも異なる作品が採録されていたりと、日中の違いも明らかになってきた。今後は李白などの特定の詩人や、唐詩な

どの特定の時代について着目することで、より細やかな分析が可能となるであろう。

## 7. おわりに

学習指導要領の改訂が 2017 年に行われ、高校では 2022 年より全面実施される。この改訂を受けた高校の教科書の調査を行い、過去の日中の教科書についても調査していくことで、日本の古典としての漢詩の通時的な特徴をより明確にし、時代による変化についても詳らかにすることができるだろう。

## 参考文献

- [1] 文部科学省：高等学校学習指導要領解説 国語編，文部科学省（オンライン），入手先<[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/\\_icsFiles/afieldfile/2010/12/28/1282000\\_02.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2010/12/28/1282000_02.pdf)>（参照 2020-11-03）。
- [2] 林教子：「国語」と「語文」における教育課程の比較・研究—漢詩教材を中心に—，早稲田教育評論，Vol.32, No.1, pp.77-94（2018）。
- [3] 堀誠：杜甫「春望」という古典教材，早稲田大学大学院教職研究科紀要，No.6, pp. 15-27（2014）。
- [4] 足立悦男・郭丹：中国・小学校国語教科書の詩，島根大学教育臨床総合研究，No.6, pp.111-126（2007）。
- [5] 丁秋郷：中国における「漢文教育」の特質を探る—日本の漢文教育の改善に向けて—，早稲田大学教育学部学術研究 国語・国文学編，No.56, pp. 15-28（2008）；中国の国語教科書の研究—初級中学の場合を中心に—，早稲田教育評論，Vol. 24, No.1, pp.115-132（2015）。
- [6] 西川真子：中国の小学校国語教科書が描く自然・人間・社会—人民教育出版社『義務教育課程標準実験教科書 語文』四年級下冊を中心に—，名古屋外国語大学外国語学部紀要，No.49, pp. 27-48（2015）。
- [7] 教育課程部会国語ワーキンググループ：資料 10 国語科に関する資料，文部科学省（オンライン），入手先<[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/068/siryo/\\_icsFiles/afieldfile/2015/12/11/1365189\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/068/siryo/_icsFiles/afieldfile/2015/12/11/1365189_1.pdf)>（参照 2020-11-03）。
- [8] 1995 年発行筑摩書房『新編国語 I』（p. 268），2007 年発行大修館書店『新編国語総合改訂版』（p. 308），2017 年発行大修館書店『新編国語総合改訂版』（p. 344），『精選国語総合新訂版』（p. 396）。
- [9] 曲志強・王娟：母国語教育における「読む」に関する日中比較研究—小学校一年生と二年生を例に—，No.20, pp.79-86（2020）。
- [10] 新型コロナウイルス感染症の流行により、中国の教科書の入手が困難であったため、以下の電子版教科書資料を参考にした。なお、高校に相当する高中課程の教科書（必修 1-5）は、2004 年検定の 2004-2007 年版が使用されていた。

人民教育出版社：小学电子课本，微信公众号（オンライン），入手先<[https://mp.weixin.qq.com/mp/homepage?\\_\\_biz=Mzg4OTA5MDg5OQ==&hid=3&sn=6fbd0960c7b91b1ac5fc55fa2cd04189&scene](https://mp.weixin.qq.com/mp/homepage?__biz=Mzg4OTA5MDg5OQ==&hid=3&sn=6fbd0960c7b91b1ac5fc55fa2cd04189&scene)

=1&devicetype=iOS13.7&version=1700112a&lang=zh\_CN&nettype=WIFI&scene=1&session\_us=gh\_844f49ac730e&fontScale=100&wx\_header=1>（参照 2020-11-08）；初中电子课本，微信公众号（オンライン），入手先<[https://mp.weixin.qq.com/mp/homepage?\\_\\_biz=Mzg4OTA5MDg5OQ==&hid=1&sn=0fa2752918f527e149ad44871a4ad50f&scene=1&devicetype=iOS13.7&version=1700112a&lang=zh\\_CN&nettype=WIFI&scene=1&session\\_us=gh\\_844f49ac730e&fontScale=100&wx\\_header=1](https://mp.weixin.qq.com/mp/homepage?__biz=Mzg4OTA5MDg5OQ==&hid=1&sn=0fa2752918f527e149ad44871a4ad50f&scene=1&devicetype=iOS13.7&version=1700112a&lang=zh_CN&nettype=WIFI&scene=1&session_us=gh_844f49ac730e&fontScale=100&wx_header=1)>（参照 2020-11-08）；2020 全套高中语文电子课本（高清 PDF 版），搜狐（オンライン），入手先<[https://www.sohu.com/a/409425881\\_100250056](https://www.sohu.com/a/409425881_100250056)>（参照 2020-11-09）；高中电子课本，微信公众号（オンライン），入手先<[https://mp.weixin.qq.com/mp/homepage?\\_\\_biz=Mzg4OTA5MDg5OQ==&hid=4&sn=b594cbb8f9939d8178d6e58dc134da98&scene=1&devicetype=iOS13.7&version=1700112a&lang=zh\\_CN&nettype=WIFI&scene=7&session\\_us=gh\\_844f49ac730e&fontScale=100&wx\\_header=1](https://mp.weixin.qq.com/mp/homepage?__biz=Mzg4OTA5MDg5OQ==&hid=4&sn=b594cbb8f9939d8178d6e58dc134da98&scene=1&devicetype=iOS13.7&version=1700112a&lang=zh_CN&nettype=WIFI&scene=7&session_us=gh_844f49ac730e&fontScale=100&wx_header=1)>（参照 2020-11-08）。

[11] 同じ漢詩の一部のみが採録されていたり、異なる詩題で採録されていたりする場合があるため、数え方の基準は日本の教科書、2016 年人教版、2001-2014 年人教版の順とした。たとえば、日本の教科書で杜甫「絶句」は「江碧鳥愈白 山青花欲燃 今春看又過 何日是帰年」とされるが、本来は 2 首連作作品の 2 首目である。2016 年人教版三年下では 1 首目の「遲日江山麗…」のみが採録されているので、別の作品として数えた。

[12] 樋口耕一：Index, KH Coder（オンライン），入手先<<https://khcoder.net/>>（参照 2020-11-03）。

[13] 唐詩のデータベースである鄭州大学網絡管理中心：全唐詩庫，鄭州大学網絡管理中心（オンライン），入手先<<http://www16.zzu.edu.cn/qts/>>（参照 2020-11-08）の簡体字表記に基づいたが、語句の異なる場合は日本の教科書の表記に合わせた。たとえば、王維「送元二使安西」は、データベースでは「…客舍青青楊柳春…」であるが、日本の教科書では「…客舍青青柳色新…」であるので、「…客舍青青柳色新…」とした。